

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 JRR-3 原子炉施設に係る新規規制基準への適合性確認に関する事業者ヒアリング（208）
2. 日 時：令和2年8月6日（木）16時00分～17時10分
3. 場 所：
 - （1）原子力規制庁10階南会議室
 - （2）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所※本ヒアリングは、テレビ会議にて実施
4. 出席者：
 - （1）原子力規制庁
原子力規制部 研究炉等審査部門
上野管理官補佐、荒川安全審査官、加藤安全審査官、島村安全審査官
原子力規制部 専門検査部門
松本主任原子力専門検査官
 - （2）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
研究炉加速器技術部 JRR-3 管理課 担当者 他9名
5. 議事要旨
 - （1）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、原子力科学研究所の原子炉施設（JRR-3 原子炉施設）の変更に係る設計及び工事の方法の認可（以下「設工認」という。）申請（その13）に関し、第360回核燃料施設等の新規規制基準適合性に係る審査会合（令和2年7月13日）での指摘事項及びこれまでのヒアリングにおいて確認を求めた事項について、資料1～資料6に基づき説明があった。
 - （2）上記（1）の説明に対し、原子力規制庁から主に以下の事項について、次回ヒアリングで示すことを求め、原子力機構から了解した旨回答があった。
 - ヒアリングで確認した内部溢水影響評価について、堰内容量の検査方法を踏まえた堰内の構造物による除外体積の算出方法
 - （3）原子力機構から、原子力科学研究所の原子炉施設（JRR-3 原子炉施設）の設工認申請（その11）（令和2年5月8日付け一部補正）に関し、上位クラスへの波及的影響について、資料7に基づき説明があった。
6. 配付資料
 - ・原子力機構からの配付資料
 - 資料1 廃樹脂貯留室の堰について
 - 資料2 JRR-3 設工認（その13）第9編から第15編に係る設計条件の見直しについて

資料3 設工認その13で申請した設備機器のうち耐震裕度が厳しいものの保守性について

資料4 外部事象影響（外部火災）森林火災の樹木管理について

資料5 外部事象影響（外部火災）航空機落下火災の離隔距離について

資料6 JRR-3制御棒の地震計スクラム検知から挿入までの時間について

資料7 JRR-3の設計及び工事の方法の認可申請書（その11）に係る追加説明事項